

広島高速5号線に係る住民説明会の開催結果等について

1 要旨・目的

広島高速5号線シールドトンネル工事に係る住民説明会の結果及び掘削再開について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については、令和3年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面変位の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。こうした中で、昨年12月に地表面変位が二次管理値(2.4mm)に到達(評価値:+2.5mm(+:隆起方向の変位))したことから掘削作業を一旦停止し、学識経験者に意見を聴きながら隆起の要因分析や対策案の検討などを進めてきた。

3 概要

(1) 住民説明会の概要

広島高速道路公社、県、広島市が出席して住民説明会を開催

地区	日時	場所	出席者
牛田	6月25日(日) 10:00~11:00	ホテルチューリッヒ 東方2001	住民:2名(牛田東一丁目1名、三丁目1名)
	6月26日(月)		住民:0名
二葉の里	6月25日(日) 14:00~15:15	JV現場事務所 (二葉の里)	住民:5名(二葉の里5名)

(2) 主な説明内容

- 隆起が生じた要因及び対策について
- 緊急家屋調査結果及び今後の対応について
- 掘進再開後の地表面変位の管理について
 - ・二次管理値は従来通り2.4mmとし、変位後の地表面の高さを基準として管理する。(二次管理値に到達した計測点を含む変位が生じている6計測点を対象)

(3) 住民からの主な意見等

地区	質問・意見	回答
牛田 6/25	・掘削時の振動によって、岩盤と土砂の境界ですべり面が発生し、土砂災害を誘発してしまうのではないかと。	・今回の振動レベルでは、懸念されている事象は生じないと考えているが、定期的に行っている地表面変位計測結果を注視し、変動の兆候等を把握していく。
二葉の里 6/25	・管理値に近づいている時点で何か対応できなかったのか。 ・今後の掘削に不安要素はないのか。早期に掘削を再開し、工事を進めてほしい。	・隆起への泥水圧の影響度合いが当時は不明な中で、静水圧まで下げたが管理値に達した。 ・今後、破碎帯を予測しており、沈下リスクを含め、地表面の計測結果を注視しながら適切に対応していきたい。

(4) 掘削再開及び今後の対応

- 牛田地区及び二葉の里地区の全戸に対して6月25日、26日の住民説明会資料及び掘削再開のお知らせ文を27日に配付した上で、29日から掘削を再開している。
- 掘削再開後も住民からの要請に応じて説明を行うなど今後も誠意を持って対応する方針であり、騒音・振動についても個別訪問を行って住民のニーズに柔軟に対応するなど、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう引き続き丁寧な対応に努める。